

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月13日

上場会社名 株式会社 アートネイチャー
 コード番号 7823 URL <http://www.artnature.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 五十嵐 祥嗣
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 井上 裕章
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 JQ

TEL 03-3379-3334

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	22,564	—	2,218	—	2,435	—	1,238	—
20年3月期第3四半期	22,790	1.2	3,517	2.7	3,673	4.6	△3,558	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	75.36	74.95
20年3月期第3四半期	△218.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	24,457	15,057	61.5	914.24
20年3月期	25,153	14,683	58.3	892.94

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 15,041百万円 20年3月期 14,669百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	70.00	—	24.00	94.00
21年3月期	—	25.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

平成19年10月1日付で、普通株式につき1:3の株式分割を実施

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,006	△1.8	3,316	△30.0	3,633	△24.9	1,850	—	112.55

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 一社(社名) 除外 一社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ「定性的情報・財務諸表等」4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	16,454,400株	20年3月期	16,430,400株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期	2,040株	20年3月期	1,990株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期	16,441,924株	20年3月期第3四半期	16,258,776株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業務予想等の将来に関する記述は、当社が現在まで入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、3ページ「定性的情報・財務諸表等」3. 連結業績予想に対する定性的情報をご参照ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、昨年9月の米国投資銀行リーマン・ブラザーズの破綻による世界的な金融危機の拡大、更にはそれが実体経済に及ぼす悪影響が一段と深刻さを増したことから、企業業績が悪化、個人消費も一段と冷え込む状況となっております。

当社の属する毛髪業界におきましても、消費の落ち込みの影響を受け、業界全体での売上高は、前年同期比では減少しているものと推定されます。

このような状況の中で当社グループは、当事業年度を初年度とした3年間の中期経営計画で打ち出した戦略である、メンズ顧客部門における「着実な成長の実現」、レディース顧客部門における「売上高の2桁成長の継続」を実現すべく、策定した諸施策を実施しました。

しかしながら、上記の我が国経済環境悪化に伴う個人消費の冷え込み、業界内外での競争激化に加えて、前連結会計年度末にオーダーメイドかつらの納品が想定以上に進捗したことの影響も残っており、当第3四半期連結累計期間でも売上高は前年同期の実績をキャッチアップすることは出来ませんでした。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は22,564百万円（前期同期比1.0%減）となりました。利益につきましては、この売上高の減少に加えて、新規顧客の獲得のため広告宣伝活動を強化したことによる広告宣伝費の増加が365百万円、女性向展示試着会開催数を増加させたことによる展示会費の増加が281百万円、本社ビルの賃借に伴う賃借料の増加201百万円を主因に、販管費が前年同期比1,021百万円増加したことから、営業利益は2,218百万円（前年同期比36.9%減）、経常利益は2,435百万円（前年同期比33.7%減）、四半期純利益は1,238百万円（前年同期比4,797百万円増）となりました。

主要な商品・サービス別の売上高は、次のとおりです。

（オーダーメイドかつら）

男性用オーダーメイドかつらは、前連結会計年度末に新商品として「HFLアルトナ」、昨年10月には「グラデーションシステム」の投入等により売上高の拡大を図りましたが、上述の前連結会計年度末の想定以上の納品進捗の影響もあり、新規・リピートを合わせたオーダーメイドかつらの売上高は、9,682百万円（前年同期比6.9%減）に留まりました。

女性用オーダーメイドかつらは、新規顧客への売上高が景気後退による消費落ち込みの影響を受けて前年同期比ほぼ横這いに留まったものの、リピート売上高が顧客基盤の拡大に伴って増加したことから、新規・リピートを合計した売上高は5,900百万円（前年同期比6.3%増）となりました。

（その他商品）

増毛商品は、男性・女性とも新規顧客向けの売上高が前年同期を上回ったことから、男女合計での売上高は952百万円（前年同期比1.6%増）となりました。育毛商品は、女性リピート向けを除いては前年同期を下回ったため、男女合計の売上高は291百万円（前年同期比19.6%減）となりました。

（サービス収入）

理美容サービスは、男性顧客向けは前期比微減になったものの女性顧客向け売上高はオーダーメイドかつらの顧客数の増によって増加したため、男女合計の売上高は、3,411百万円（前年同期比1.2%増）となりました。

育毛サービスは、女性リピート向けを除いて前年同期と比較して減少したため、男女合計の売上高は、1,036百万円（前年同期比3.2%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

〔財政状態の変動状況〕

（総資産）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて696百万円減少し、24,457百万円となりました。これは主に流動資産が繰延税金資産、未収還付法人税等の減少により、605百万円減少したことによるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて1,070百万円減少し、9,399百万円となりました。これは流動負債が賞与引当金、未払金等の減少により、前連結会計年度末比577百万円減少したのに加えて、固定負債においても社債の償還を主因に前連結会計年度末比493百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ374百万円増加し、15,057百万円となりましたが、これは主に利益剰余金の増加によるものです。

[キャッシュ・フローの状況]

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、11,591百万円と前連結会計年度末に比べて615百万円の増加となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況及びそれらの主な要因は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益2,393百万円、法人税等の還付金収入778百万円、減価償却費576百万円があった一方、賞与引当金の減少398百万円、その他の減少394百万円等により、2,966百万円の資金収入（前年同期は622百万円の資金支出）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産取得による支出839百万円、定期預金預け入れによる支出424百万円、無形固定資産取得による支出139百万円等により、1,144百万円の資金支出（前年同期は649百万円の資金支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払796百万円、社債の償還452百万円等により、1,167百万円の資金支出（前年同期は2,534百万円の資金支出）となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年11月14日に公表しました通期の連結業績予想から修正は行っておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② たな卸資産の評価基準及び評価方法の変更

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、オーダーメイドかつらについては個別法による原価法、その他は主として移動平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、オーダーメイドかつらについては個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）、その他は主として移動平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これによる、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

③ 「連結財務諸表における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告18号 平成18年5月17日）を適用しております。

これによる、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,870,950	9,016,297
売掛金	686,005	505,008
有価証券	2,013,016	2,007,952
商品及び製品	533,998	411,199
仕掛品	21,283	20,172
原材料及び貯蔵品	427,898	489,185
その他	1,513,913	3,231,258
貸倒引当金	△60	△9,039
流動資産合計	15,067,006	15,672,034
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,706,346	2,729,865
その他（純額）	2,169,671	1,976,251
有形固定資産合計	4,876,017	4,706,116
無形固定資産		
のれん	122,534	180,719
その他	683,429	726,766
無形固定資産合計	805,964	907,486
投資その他の資産		
その他	3,809,127	3,939,156
貸倒引当金	△100,743	△71,095
投資その他の資産合計	3,708,383	3,868,060
固定資産合計	9,390,365	9,481,664
資産合計	24,457,372	25,153,698

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	149,391	171,027
短期借入金	219,997	91,080
1年内返済予定の長期借入金	—	89,230
1年内償還予定の社債	572,000	602,000
未払法人税等	130,775	61,577
前受金	4,027,874	3,712,804
賞与引当金	400,988	800,000
役員賞与引当金	75,000	100,000
商品保証引当金	12,404	14,188
その他	1,530,761	2,054,834
流動負債合計	7,119,193	7,696,743
固定負債		
社債	204,000	626,000
長期借入金	—	2,983
退職給付引当金	1,097,757	1,003,821
役員退職慰労引当金	943,790	1,062,236
その他	34,956	78,464
固定負債合計	2,280,503	2,773,505
負債合計	9,399,697	10,470,248
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,990,160	2,986,560
資本剰余金	2,877,660	2,874,060
利益剰余金	9,210,627	8,777,190
自己株式	△562	△518
株主資本合計	15,077,885	14,637,291
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△36,420	32,260
評価・換算差額等合計	△36,420	32,260
少数株主持分	16,210	13,897
純資産合計	15,057,674	14,683,450
負債純資産合計	24,457,372	25,153,698

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	22,564,985
売上原価	6,213,471
売上総利益	16,351,514
販売費及び一般管理費	14,133,047
営業利益	2,218,466
営業外収益	
受取利息及び配当金	26,001
受取販売奨励金	147,428
その他	128,847
営業外収益合計	302,277
営業外費用	
支払利息	12,578
貸倒引当金繰入額	29,648
為替差損	19,433
その他	23,186
営業外費用合計	84,846
経常利益	2,435,898
特別利益	
固定資産売却益	464
貸倒引当金戻入額	2,934
特別利益合計	3,398
特別損失	
固定資産除却損	25,184
会員権評価損	20,449
特別損失合計	45,633
税金等調整前四半期純利益	2,393,663
法人税、住民税及び事業税	112,154
法人税等調整額	1,044,220
法人税等合計	1,156,375
少数株主損失(△)	△1,702
四半期純利益	1,238,990

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	2,393,663
減価償却費	576,659
のれん償却額	56,632
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	20,668
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△398,310
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△25,000
商品保証引当金の増減額 (△は減少)	△1,783
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	109,754
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△118,446
受取利息及び受取配当金	△26,001
支払利息	12,578
固定資産除却損	25,184
固定資産売却損益 (△は益)	△464
匿名組合投資損益 (△は益)	△27,048
投資有価証券評価損益 (△は益)	△31,756
売上債権の増減額 (△は増加)	△188,131
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△73,276
仕入債務の増減額 (△は減少)	△21,131
前受金の増減額 (△は減少)	315,070
会員権評価損	20,449
その他	△394,099
小計	2,225,211
利息の支払額	△11,751
利息及び配当金の受取額	20,354
法人税等の支払額	△45,241
法人税等の還付額	778,256
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,966,830
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△424,568
定期預金の払戻による収入	122,995
有形固定資産の取得による支出	△839,153
有形固定資産の売却による収入	496
無形固定資産の取得による支出	△139,932
投資有価証券の償還による収入	100,000
貸付金の回収による収入	3,082
敷金及び保証金の差入による支出	△73,508
敷金及び保証金の回収による収入	48,541
匿名組合出資金の払戻による収入	58,379
その他	△607

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年12月31日)

投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,144,274
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	245,763
短期借入金の返済による支出	△81,840
長期借入金の返済による支出	△90,467
社債の償還による支出	△452,000
株式の発行による収入	7,200
少数株主からの払込みによる収入	97
自己株式の取得による支出	△43
配当金の支払額	△796,208
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,167,499
現金及び現金同等物に係る換算差額	△39,948
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	615,108
現金及び現金同等物の期首残高	10,976,249
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,591,357

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

当連結グループは、毛髪関連事業を専門に事業展開しており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメントの記載を省略しております。

〔海外売上高〕

当第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日～12月31日)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
	金額(千円)
I 売上高	22,790,042
II 売上原価	6,161,552
売上総利益	16,628,489
III 販売費及び一般管理費	13,111,391
営業利益	3,517,097
IV 営業外収益	273,860
V 営業外費用	117,886
経常利益	3,673,071
VI 特別利益	25,591
VII 特別損失	9,445,719
税金等調整前四半期純損失(△)	△5,747,056
法人税等	△2,189,376
少数株主利益	381
四半期純損失(△)	△3,558,061

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第3四半期連結累計期間(平成19年4月1日~12月31日)

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失	△5,747,056
減価償却費	609,843
減損損失	9,383,483
のれん償却額	113,148
貸倒引当金の減少額	△35,961
賞与引当金の減少額	△307,838
役員賞与引当金の増加額	21,300
退職給付引当金の増加額	139,756
商品保証引当金の減少額	△661
役員退職慰労引当金の増加額	108,842
受取利息及び受取配当金	△38,899
支払利息	36,730
固定資産除却損	35,416
固定資産売却損	671
匿名組合投資利益	△24,558
投資有価証券売却益	△24,000
売上債権の増加額	△225,758
たな卸資産の減少額	103,258
その他流動資産の増加額	△11,927
仕入債務の減少額	△48,921
前受金の減少額	△2,599,447
その他流動負債の減少額	△89,679
その他固定負債の増加額	4,705
その他	2,367
小計	1,404,815
利息及び配当金の受取額	19,813
利息の支払額	△31,929
法人税等の支払額	△2,015,598
営業活動によるキャッシュ・フロー	△622,898

	前年同四半期 (平成20年3月期 第3四半期)
区分	金額(千円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△623,276
有形固定資産の売却による収入	816
無形固定資産の取得による支出	△151,224
投資有価証券の取得による支出	△100,000
投資有価証券の売却による収入	224,000
長期貸付金の回収による収入	2,975
保証金及び敷金の差入による支出	△54,428
保証金及び敷金の回収による収入	45,987
匿名組合投資の回収による収入	17,669
その他	△11,911
投資活動によるキャッシュ・フロー	△649,393
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入による収入	25,500
長期借入金の返済による支出	△1,189,480
社債の償還による支出	△452,000
自己株式の取得による支出	△87
配当金の支払額	△922,153
少数株主からの払込による収入	3,804
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,534,416
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	2,371
V 現金及び現金同等物の減少額	△3,804,337
VI 現金及び現金同等物の期首残高	10,806,921
VII 現金及び現金同等物の期末残高	7,002,584

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年12月31日)

当連結グループは、毛髪関連事業を専門に事業展開しており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年12月31日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメントの記載を省略しております。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年12月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。